

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	建築生産自動化小委員会	主 査 名：新井 一彦
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会(建築生産運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事における次世代ロボットの活用技術に関する調査研究を行う。</li> <li>・ 第 4 回ワークショップの企画・開催</li> <li>・ 題 10 回建設ロボットシンポジウムの企画・開催 (土木学会など 6 学協会と併催：2004 年 7 月 22 日)</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	新井一彦(鹿島)、井上文宏 (大林組)、岩波光一 (戸田建設)、椎名國雄 (東海大学)、 玉木欽也(青山学院大学)、寺井達夫(千葉工業大学)、星野春夫(竹中工務店)、前田純一郎 (清水建設)、眞方山美穂 (建築研究所)、三浦延恭 (国土舘大学)、室英治 (芝浦工業大学)、 森正人(大成建設)、吉武亮二 (フジタ) 13 名 <span style="float: right;">五十音順</span>	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名称：次世代ロボット活用技術に関する WG 目 的：次世代ロボット技術の有効活用に関する調査研究を行う。	
2004 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会開催：10 回 (2004.4/19、5/24、6/25、8/4、9/17、10/18、11/29、2005.1/18、2/15、3/18)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) ①次世代ロボットの活用技術に関する調査研究を行い、現在報告書を作成中である。報告書完成後は、学会図書室で保管し、閲覧可能な状態にする。 ②「最新の IT 技術を導入した自動化&自動化工法」と題して、第 4 回目のワークショップを開催した。(2005 年 2 月 10 日) 「情物一体化建設システム」、「3 次元施工シミュレータの開発」、「建設施工プロセスにおける 4D シミュレーションの適用と普及」、「建築資材の物流合理化手法の開発と適用」、「携帯端末による配筋検査システムの開発と適用」、「橋梁の塗替塗装用ロボットの開発」、「ビル自動化施工システムの改善プロセスの分析と評価」、「ダイオキシン類を有する煙突解体システムの開発」の 8 題の講演が行われ、各テーマとも活発な意見交換がなされた。特に、今回は、ソフト・ハード面、あるいは、IT 技術と RT(ロボット技術)技術が包含された催しとなり、新しい分野からの参集があったことが特筆される。
	委員会 HP アドレス： 現在の所なし。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) ①WG の報告書作成がやや遅れているが、5 月をめどに完成させる予定である。 ②ワークショップの企画・開催を予定通り進めた。参加者も計画を上回った。内容的にも、充実していたと評価する。
その他評価すべき事項	